

北嶺大々先達河合祖信師を先導に 日航機墜落事故慰霊行脚



一九八五年八月に五二〇名の犠牲者を出した日航機墜落事故から本年度で三〇年を迎えました。事故直後は教区住職有志が、慰霊のため事故現場へと足を運びました。
事故から二十五年となる平成二十二年に当会では慰霊法要と慰霊登山を実施し、それからは当会の年中行事として、会員の他、教区内外のご住職にもご参加をいただいています。殊に事故当時のことを知らない若い会員が「実際に墜落現場に行

会報 群青

第 7 号

平成28年
3月31日発行

【発行所】
高崎市中尾町1261
天台宗群馬教区
宗務所内

【発行人】
群馬天台青年会

【編集】
広報部

【デザイン・印刷】
株イデア
エンタープライズ

群馬天台青年会HP
<http://gunjou.jimdo.com>

くことで事故当時のことを考えさせられる」「慰霊登山を続けたい」と積極的に参加してくれま。本年度は事故当時に現場と遺体安置所で慰霊法要を行った北嶺大々先達河合祖信師に、慰霊登山の先導と鎮魂のための尊勝供の厳修をご快諾いただき、九月二十九日に実施しました。
兵庫から井藤前連盟代表、埼玉から土屋前埼玉仏青会長にお越しいただき総勢三〇名が集いました。
先ず慰霊の園での河合師の尊勝供と併せて阿弥陀經、仏頂尊勝陀羅尼を参加者で読誦いたしました。
そののち墜落現場の御巢鷹の尾根へ移動し、旧登山道入り口付近から慰霊行脚を行いました。
五二〇名もの尊い命が奪われた悲惨な事故の風化を防ぐため、今後も慰霊登山を行います。



会長挨拶

群馬教区ご
尊台、また正・
賛助会員さま
におかれまし
ては、日頃よ
り格別のご協

力を賜り、厚く御礼申し上げます。
群馬天台青年会は一九六九年に発足し、平成三〇年で創立五〇周年を迎えます。正会員八十四名の天台屈指の青年会であり、正会員を終わっても四十四名の諸大徳さまが賛助会員として在籍されております。この現状がいかに歴代会員さまに守られ、ここまでの会に発展させてきたかを窺い知ることができません。

今回、私の代で選んだテーマは、学問と修業をバランスよく学習していく「解行双修」を目標にしております。各々学業を修了し自坊に戻ると、様々な行事に参加しながら、お檀家さまの葬儀や自坊の寺務処理をこなす忙しい身となります。そのような中、地方に戻った青年僧が天台学問をさらに習得し、個々のスキルアップを図る会が当会となります。

また、最澄さまは広濟広拯を建て、現在の福祉精神の基盤となる行いもされております。当会でもその精神を規範にし、各災害の被災者へご助力できるようボランティア活動も行ってまいります。

私が平成二十七年四月の定期総会において会長という重責を拝命し、早一年が経過しようとしています。すでに多種多様な行事を行って参りましたが、その行事を通して会員間の懇親を深め、微力ながらも群馬教区発展に尽力し、青年僧らしく活動していきたいと思っております。

つきましては前役員同様、格段のご支援ご教導をお願い申し上げます、御礼かたがたご挨拶を申し上げます。

群馬天台青年会 会長 藤井祐幹

法華經読誦会と特別研修会



平成二十八年二月二十五日に「寒行法華經読誦会」を、高崎部満勝寺さま（原徳明住職）にて行いました。

本年度は「ただ読むだけではなく、どのようなことが説かれているのか前もって法華經の勉強をしよう」と、二月十九日に宗務所にて研修会を開催しました。講師に兵庫教区應聖寺住職で、叡山学院学監の桑谷祐顕師をお招きし法華經の講義をお願いしました。

当日は群馬仏青会員のみなならず、天台宗宗議会議長小川晃豊師をはじめ県内ご住職や栃木仏青会員など総勢六〇名の参加のもと開催されました。

第一講は法華經の成立から原典、「二処三会」と言われる釈尊の法華經の説かれた状況や、「五時教判」「一念三千」「三転読文」「諸法実相」など天台教学としての法華經の講義を行いました。第二講

は法華經の代表でもある「法華七喻」のお話しを中心に宗祖伝教大師の法華經観などをご教授いただきました。

全講義三時間という限られた時間ではありましたが、大変有意義な講義となりました。

その講義内容をふまえ、読誦会を開催しました。

会場主の原ご住職をはじめ仏青OB、賛助会員にもご参加いただき、朝七時より開会、昼食休憩をはさみ十九時までの十二時間、一心に法華經を読誦いたしました。

これからも法の灯しびが消えぬよう、法華經読誦を続けてゆきます。



北前橋部珊瑚寺で 教区青少年研修会



平成二十七年群馬教区青少年研修会を八月六日・七日に、北前橋部珊瑚寺さまを会場に、研修生四十八名参加のもと開催しました。

開会式にあたる発心会では、一同が二日間の研修を充実したものにすため、ご本尊さまに誓いを立てるとともに、会場主の内田堯重ご住職や、来賓の皆さまより励ましのお言葉を賜りました。

食事や掃除、座禅の時間には、ピリッと真剣な面持ちで臨む子供たちの姿が印象的でしたが、木工教室でのお箸づくりや境内の名所をめぐるスタンプラリーでは、スタッフと一緒にあって和気あいあいと微笑ましい姿を見せていました。

また、恒例のキャンプファイヤーでは、炎を囲みながら若手スタッフの寸劇やゲームで大いに盛り上がりつつ、終わりに、今回の研修で学んだことをこれからの生活にも活かしてゆくよう、みんなが誓いを新たにしました。

その他にも、お寺の歴史を学ぶミニ授業や、写經の研修、お昼の流しそうめんなど、様々な経験をした研修生たちは、たくさん思い出を胸に、充実した表情で家路につきましました。

宗祖大師報恩法要 終戦70年を迎え慰霊法要を併修



平成二十七年八月十八日に宗祖大師ご巡錫の地、多野部浄法寺さま（緑野智彦住職）にて、報恩法要を厳修いたしました。

また本年は第二次大戦の終結七〇年という節目を迎えました。例年



の報恩法要と併せて、戦没者追悼として光明供錫杖を修しました。堂内には祖師先徳鑽仰大法会のご遠忌を迎える祖師方の御影とともに、戦争犠牲者の霊牌をお祀りし、谷前宗務所長さま、教区ご住職さまをはじめ、六〇名のご随喜の方々と冥福を祈りました。

一隅フェスティバル IN 石巻 ～祈りと癒しと笑いのひととき～



平成二十七年十月十六日、宮城県石巻市の東雲寺さま(山田清隆住職)にて天台宗一隅を照らす運動総本部(横山照泰本部長)主催による行事「一隅フェスティバル IN 石巻」祈りと癒しと笑いのひととき」が執り行われました。行事目的は、東日本大震災復興支援の一環として「被災された方々への心の癒し」を主題に、一隅を照らす運動総本部が主催、陸奥・茨城・栃木・埼玉・群馬各教区仏青有志の方々の協力のもと開催されました。

横山本部長導師の慰霊・復興祈願法要、群馬天台雅楽会による「雅楽演奏」や嘶家古今亭文菊師匠、太神楽 仙若氏による復興支援寄席が執り行われました。また来場者の方々に体験いただける「二行写経・写仏」が開かれ来場者の方々からは好評をいただきました。最後に石巻市社会福祉協議会へ一隅総本部より支援金を委託し閉会しました。

栃木仏青主催 東北復興応援ひろば



平成二十七年十一月二〇日に、栃木県天台仏教青年会(霜村裕寛会長)主催の震災復興イベント「第三回東北復興応援ひろば」に参加しました。栃木仏青では震災以来、被災地での仮設住宅へ本を寄贈するボランティアや、募金活動などを行ってきたほか、様々な形の震災復興活動を行ってきました。

この「東北復興応援ひろば」では東北地方の名産品の販売や、グルメの展覧会が催され、売上の一部は当日の募金と併せてあしなが育英会の震災遺児支援活動金として寄付されました。

当日は曇天で肌寒い日でしたが、沢山の人が集まり大変盛況なイベントでした。光榮連盟代表もこのイベントに激励に駆けつけてくださいました。

群馬仏青は募金活動や会場設営等のお手伝いをさせて頂きました。それぞれの仏青たちが考え、行っている活動にお互い参加することで、情報を共有し、懇親をより深めることが出来ました。当会の今後の活動にも大変参考となりました。

兵庫結集と研修旅行

平成二十七年十一月四日から五日の日程で、連盟主催、兵庫仏青担当の平成二十七年度天台仏教青年連盟全国大会兵庫結集が行われました。大会は「光伝えよ法の灯―相承と創造―」というテーマのもと、書写山圓教寺さまにて開催され、二〇〇人を超す各教区青年僧が集まりました。群馬仏青からは一〇名が参加いたしました。

記念講演では、嘶家の桂南光師匠をお招きし、ご自身の体験談や僧侶に関係する話と、師匠のユーモア溢れる語り会場からは笑いが巻き起こり、参加者は皆師匠のお話に引き込まれていました。



閉会後は会場を移し、懇親会が開かれ、全国の仏青会員との親睦を深め、天台仏教青年僧としての団結を再確認する有意義な時間を過ごすことが出来ました。



▲研修旅行の神峯山寺にてご住職と歓談

二日目は群馬仏青独自の研修として、八葉寺(國岡恵心住職、應聖寺(桑谷祐顕住職)、神峯山寺(近藤眞道住職)の三ヶ寺を参拝し、荘厳なお堂や美しい庭園を拝見し、またご住職からはお檀家さまとの関わり方やこれからの寺院の在り方等のお話を賜りました。二日間の日程を通し天台宗の青年僧としての自覚を再確認することができ、大変実りのある研修となりました。

群馬県仏教保護会慰問

平成27年12月10日に前橋市にある群馬県仏教保護会に、慰問品と寄付金をお届けしました。

毎年行っているにもかかわらず、たくさんの慰問品のご提供ありがとうございます。来年度もかわらないご支援をよろしくお願いたします。

収集方法

11月頃慰問品提供のお願いをご案内いたします。部内仏青幹事または宗務所までお持ち下さい。

古来より仏教儀式に取り入れられてきた『雅楽』を

寺院法要を中心に小学校雅楽教室等の社会支援活動も行っております。

一緒にやってみませんか？

群馬天台雅楽会 会員募集

お問い合わせは 仏青事務局まで。



平成28年度開催場所 華藏寺 (伊勢崎市)

平成28年度

天台宗群馬教区 青少年研修会

共に学び、共に成長する

参加者募集

申し込み 平成28年 7月4日 締め切り!!

開催日時 平成28年8月9日~10日 (火・水) 一泊二日



当会製作散華のご案内

原稿記入 → 申込書 → 製作見本 → 完成

ご希望の寺名、山号、経文や言葉、梵字等で製作いたします。

また、ご自身でお手書きになられた文字、仏画、お堂の絵なども印刷し製作できます。データでの入稿も可能です。5色 (各色100枚ずつの計500枚) でワンセット、1万2千円~です。原則として春彼岸・秋彼岸の前 (年2回) に募集、製作、納品いたしますが、随時ご相談に応じます。詳しくは当会ホームページ、もしくは担当者にお問い合わせください。

散華担当：西前橋部 善性寺内 (長松寺) 長 靖順



群青劇場

花嫁募集? 作: 散華担当



さのう様さんの5歳の娘さんにき

3歳の娘さんにき

えっと... まずは師僧を見付けて弟子になつて...

そこがまず難しいですよ

赤の他人同士が急に親子になるお母さん、最初から家族なら楽なのにね!

お坊さんと結婚すればいいじゃん!

それだ!

群馬天台青年会にはお嫁様を募集中の独身僧侶が沢山在籍しております。

僧侶を目指すならお寺さんと結婚するのも一つの道です。

編集後記

事務局はじめ会員の皆さまのご協力のおかげで今年も発行出来ました。特に4頁目に注目です! 広報部K合掌